

# 文化ホール基本構想

文化ホール基本構想策定委員会

# 目次

---

|                   |    |
|-------------------|----|
| 1、基本構想の背景         | 2  |
| 2、市民会館の現状と課題      | 3  |
| 3、基本理念            | 5  |
| 4、基本方針            | 6  |
| 5、機能              | 7  |
| 6、施設規模等           | 9  |
| 7、管理運営            | 12 |
| 8、取り組み経過          | 13 |
| 9、文化ホール基本構想策定委員名簿 | 14 |

# 1.基本構想の背景

---

国では、平成13年に「文化芸術振興基本法」を施行し、文化芸術振興に関する国、及び地方公共団体の責務を明らかにしました。また、平成19年の閣議決定では、「文化力」が国の力であるということや、文化芸術で国づくりを進める「文化芸術立国」を目指すという方向性が示されています。

和歌山県においても平成21年4月に「県文化芸術振興条例」を制定し、「文化芸術が暮らしの中に息づく、心豊かな社会の実現を目指すことを決意する」としています。

近年では、文化政策は文化芸術の持つ創造力、集客力、発信力などが地域社会に多様な影響を与えることから、まちづくりの一環として取り組まれています。新宮市でも、長年にわたり「文化」をまちづくりの根幹に置き、他所の地域との差別化に努めてきました。

このような中、文化の基幹施設である昭和41年建設の市民会館は、老朽化が著しく、耐震強度不足をはじめ、来場者の駐車場不足、舞台の狭さなど、様々な問題を抱えています。また、質の高い音楽や演劇、絵画などの芸術に、市民が触れられる機会の提供は少なく、個性豊かな人間性、創造力を育む文化の基幹施設としては、物足りないのが実情です。

さらに、文化の集積地・発信地でもあった中心市街地は、人の流れが少なくなり、活気が失われ、商店街は賑わいを失ってきています。周辺地域住民からも、「往時の賑わいを再び」という声が多く上がっている状況です。

新宮市総合計画では、地域の独自性を際立たせる政策として、「人輝き文化奏でる都市」を謳い、「熊野文化」に焦点を当てたまちづくりを進めています。そこでは、市民の文化意識を高揚し、感性を磨く市民文化活動の拠点として、また、都市機能の充実と、中心市街地への誘引力の向上にもつなげるものとして、誰もが気軽に集え、心が満たされる文化ホールの整備が求められています。

## 2. 市民会館の現状と課題

市民会館(昭和41年建設)の現状は次のとおりです。また利用者、来場者双方の視点から下記のような問題・課題を抱えています。

### 市民会館の概要

延べ床面積 2870㎡

駐車場 30台

| 区分              | 広さ                            | 収容客数  |
|-----------------|-------------------------------|-------|
| 大ホール            | 628㎡                          | 1010席 |
| 舞台              | 116㎡<br>(間口14.5m、奥行8m、高さ7.5m) |       |
| 玄関ロビー<br>(ホワイエ) | 274㎡                          |       |
| 大会議室            | 102㎡                          | 40人   |
| 小会議室            | 23㎡                           | 12人   |
| 和室(2室)          | 37㎡/室                         | 20人/室 |
| 楽屋              | 20㎡                           | 15人   |

### 市民会館(大ホール) 催事入り込み状況 【H16～20年度】 (単位:件)

|    | 満席<br>(1010) | ～900 | ～800 | ～700 | ～600 | ～500 | ～400 | ～300 | ～200 | ～100 | 100未満 | 計    |
|----|--------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 合計 | 37           | 31   | 21   | 24   | 13   | 28   | 21   | 18   | 23   | 31   | 12    | 259  |
|    | 14%          | 12%  | 8%   | 9%   | 5%   | 11%  | 8%   | 7%   | 9%   | 12%  | 5%    | 100% |
|    | 26%          |      | 22%  |      |      | 26%  |      |      | 26%  |      |       |      |

### 市民会館 稼働表 【平成20年度】 (単位:日数)

|     | 大ホール | 玄関ロビー | 大会議室 | 小会議室 | 和室  | 楽屋  | 調理実習室 |
|-----|------|-------|------|------|-----|-----|-------|
| H20 | 4    | 19    | 6    | 18   | 16  | 7   | 5     |
|     | 5    | 9     | 8    | 20   | 14  | 7   | 3     |
|     | 6    | 9     | 6    | 17   | 18  | 7   | 3     |
|     | 7    | 7     | 9    | 21   | 21  | 8   | 3     |
|     | 8    | 7     | 9    | 15   | 18  | 5   | 2     |
|     | 9    | 13    | 9    | 22   | 17  | 9   | 5     |
|     | 10   | 17    | 10   | 27   | 23  | 12  | 4     |
|     | 11   | 28    | 15   | 27   | 25  | 18  | 15    |
| H21 | 12   | 3     | 11   | 16   | 14  | 11  | 2     |
|     | 1    | 9     | 11   | 18   | 17  | 13  | 7     |
|     | 2    | 2     | 4    | 15   | 19  | 11  | 4     |
| 計   | 3    | 11    | 10   | 20   | 13  | 10  | 3     |
|     | 134  | 108   | 236  | 215  | 118 | 56  | 6     |
|     | 37%  | 30%   | 66%  | 60%  | 33% | 16% | 2%    |

開館日数 360日

## 問題点

耐震強度不足

舞台の広さが足りない。オーケストラや舞台演劇などの公演では、前列の数列をはずし、舞台を拡げての利用。

音響については、ホール中央で音割れを起こし、いくらか不快感を与えている。

舞台搬入路が狭い。また、悪天候の対策ができていない。

座席は、長時間座るには適していなく、前後左右の間隔が狭い。

楽屋が少ない。

展示室(ギャラリー)がないため、玄関ロビー(ホワイエ)を展示会場として使用しているが、空調や照明が悪い。

収容客数に対してトイレの数が少ない上、だれでもトイレ(ユニバーサルトイレ)がない。

エレベーターがないなど、館全体を通してバリアフリー化が不十分。

駐車できる台数の絶対的不足。(広域住民の声から何とかして欲しいとの声多数)

## 課題

文化振興の拠点である市民会館の事業として、自主的な文化振興事業が行われていない。(貸館事業のみ)

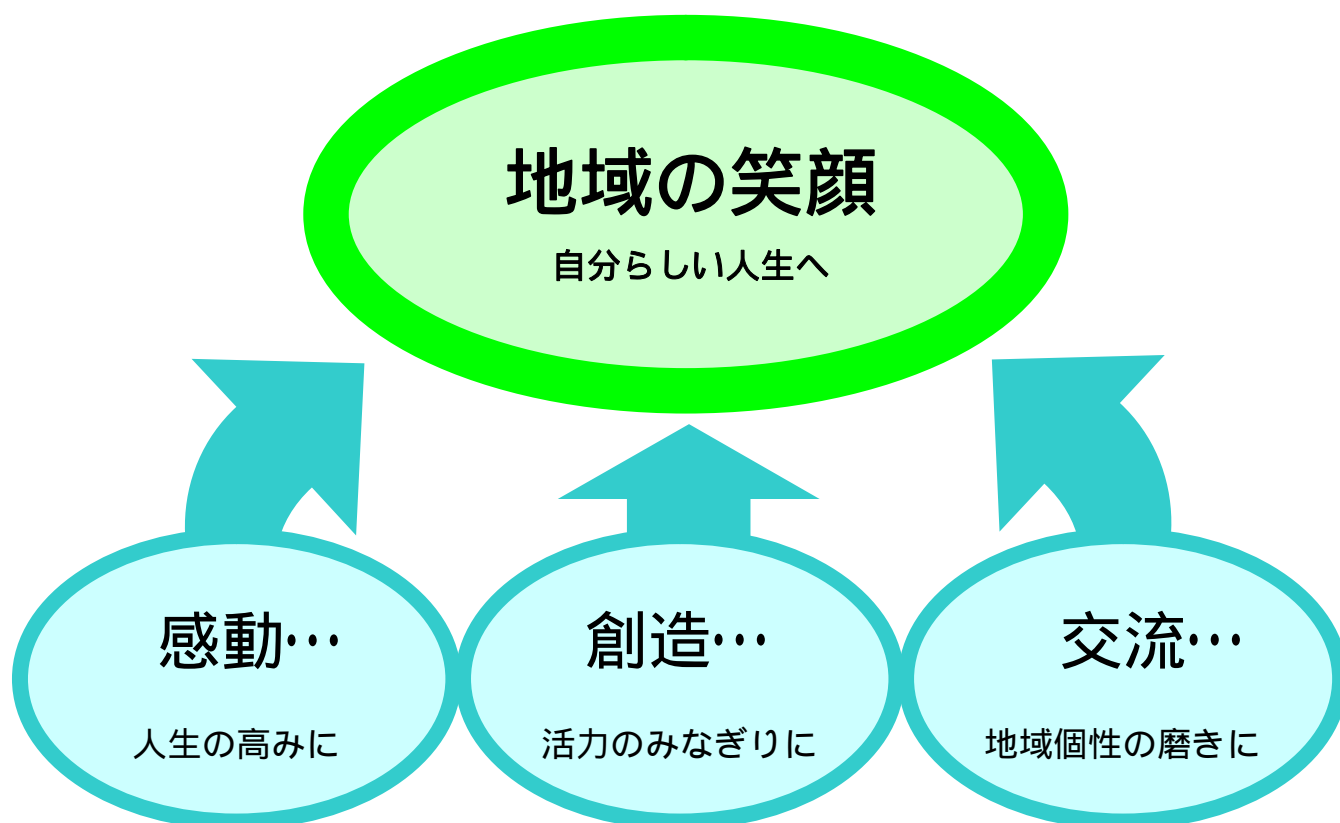
### 3. 基本理念

---

人の営みそのものである文化芸術を“観る”“聴く”“感じる”、そして“体験”“表現”することにより感動が生まれます。そして、感動により養われた感性と創造性、さらには文化を創造する力に直接触れるという経験は、未来を担う子どもたちにとっても、自ら考え、生きる力をもたらし、豊かな人間性を育むものです。また、文化芸術を介して様々な人々が触れ合うことにより、多様な交流を生み出し、人と人を繋ぐ絆を太くします。

文化ホールは、文化芸術振興の拠点として、周辺地域からも人々が気軽に集え、親しみやすい雰囲気の中で活動が広がることにより、地域の文化が守り育てられ、郷土愛やふるさとへの誇りを一層高める役割を担います。

「誰もが楽しみ豊かな気持ちになり、温かな笑顔が満ちあふれ波紋のように広がっていく。それが地域全体に及び、あふれ出すことで地域の活力や賑わいが創り出され、また、それが人々の幸せへとつながっていく…」そんな、生きた文化活動が枯れることのない源泉となり、地域の人々が自分らしい人生を満ち足りたものにするための拠点となるような、「感動」「創造」「交流」を軸とした文化ホールとします。



## 4.基本方針

---

歴史ある熊野の地、新宮城跡に抱かれた地に人々が集い、交流し、かけがえのない歴史文化を大切にしながら、未来に贈り伝える新しい文化を創造するために、理念で挙げた3つの軸を基本に文化ホールを整備します。

### 1、文化芸術を鑑賞し、“感動”できる場所

優れた音楽や美術、演劇などの芸術、芸能に直に触れ、感動する機会を通じて、豊かな感性と創造力が育まれるとともに、暮らしを高め、人生の豊かさを深める場所にします。

普段触れることの少ない質の高いものから気軽なものまで、コンサートや劇、絵画、伝統芸能など多様な文化芸術に日常的に接することは、情操を養い人間性を高めることから、人生の高みを求めることにつながります。

### 2、文化芸術活動に親しめ、“創造”できる起点

地域住民が文化芸術活動に親しめ、その積み重ねを表現・発表する場を提供することにより、文化的創造力をさらに刺激・促進して、活力のある市民生活を創出する起点にします。

市民活動による企画・制作・発表・鑑賞などの創作活動に対して、側面的な支援を行うことにより、活力のみなぎりにつなげます。

### 3、文化活動や市民活動を通じ、“交流”できる拠点

地域内外の多様な文化活動の交流や会議等の開催により、互いに刺激、触発、理解し合うことで、新たな市民活動の芽生えを促進するとともに、地域の魅力や文化力、もてなし力を高め、熊野の個性を際立たせる拠点にします。

地域の文化活動の発信や文化情報の集約、地域コミュニティを意識した活動ができる施設づくりを進め、文化活動・市民活動の基盤を強固にすることにより、地域個性の磨きに弾みをつけます。

## 5. 機能

---

基本方針に基づき、文化ホールの機能として、大きく4つの機能を持ちます。

### 1 ホール・ギャラリー機能

日常空間とは違う心揺さぶる異空間を体験し、感動できる。

(1) 質の高い舞台芸術や美術等を鑑賞し、感動する。

- 1 文化芸術水準の向上。
- 2 感性や情操の育み。

(2) 文化芸術に直に触れ、感銘する。

- 1 文化の裾野の拡大。
- 2 文化芸術への興味、関心の芽生え。
- 3 多様な文化活動への参加。

(3) 活動の成果を表現・発表する。

- 1 晴れの場の提供。
- 2 表現・発表することによる、達成感と感動から生まれる活動意欲の向上。

### 2 フロント・ロビー機能

気軽に立ち寄ることができ、多様な交流や情報の共有が行われる。

(1) 文化を軸に交流し、繋がりを生む。

- 1 文化活動の集いの場の提供。
- 2 文化活動から生まれる新たな出会いの創造。
- 3 地域との連携、地域との密着度の高い運用による文化振興。

(2) 文化情報が手に入り、発信できる。

- 1 公演や発表会、地域の文化活動など、文化情報の受発信の場の提供。

(3) 文化芸術の裾野を広げる出張公演活動(アウトリーチ)を行う。

- 1 文化芸術に触れる機会の創出。
- 2 文化芸術の鑑賞意欲の向上。



### 3 スタジオ・会議室機能

日常的な活動や練習、自己啓発などから、創造力が育まれる。

(1) 文化的活動や行事が開催でき、地域力を高める。

- 1 文化講演会、講習会、研修会等の場の提供。
- 2 市民活動の創作の場の提供。
- 3 文化芸術活動のリーダーの人材育成。

(2) 日常的に熟達、練磨でき、市民力を高める。

- 1 練習活動の場の提供。
- 2 打ち合わせ、準備の場の提供。

### 4 プラザ機能

団体相互の多様な交流や地域の集まりの場となり、市民活動の活性化が促される。

(1) 地域コミュニティの確保。

- 1 市民活動の交流や情報交換の場。
- 2 気軽に立ち寄れるオープンスペースの提供。

(2) 地域と地域の絆を太くする。

- 1 多様な市民活動から、地域相互の交流が始まり深まる。
- 2 活動団体が協働できる場の提供から、団体間相互の絆を深め太くする。

(3) 地域住民が憩える。

- 1 文化芸術に浸る感覚を持つことができる空間演出(館内、館外共通)。
- 2 心和める空間づくり(館外)。
- 3 オープンスペースの場は、行事のあるなしにかかわらず、宵の口まで開放。

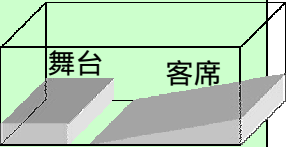
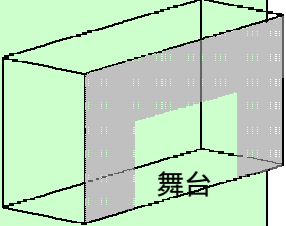
## 6.施設規模等

ホール(劇場)、多目的ホール(ギャラリー)、ロビー、スタジオ(リハーサル室)は、ホール整備の軸とし、事務室、会議室、研修室などの熊野学センターや図書館と共有できる施設は、動線に十分配慮しながら、今後の施設計画を進める上で調整を図ります。

また、隣接する新宮城跡から熊野速玉大社までの間を文化交流ゾーンと意識し、それらにふさわしい外観と施設周辺の整備、施設規模を十分考慮しながら、立ち寄りやすく親しめる雰囲気施設のづくりを進めるものとします。

駐車場はホールの規模を考慮しながら、複合施設としての駐車台数を検討します(文化ホールは、ホール規模、広域利用の観点から300台以上が望ましい)。

建設予定地は、市民会館用地と丹鶴小学校用地とします。

| 区 分   | 整 備 の 方 向 性   |
|---|---|
| <p>大ホール</p>  <p>シューボックス型</p>  <p>プロセニウム形式</p> | <p>1000～1200人収容を基本とする。</p> <p>優れた音響効果があり、集客力の高いアーティスト・オーケストラなどの誘致や舞台芸能などにも対応でき、本物を鑑賞できる多目的ホールとする。</p> <p>構造</p> <p>良好な音響機能と均一な響きが得られやすい、直方体のシューボックス型(靴を入れる箱型)の空間づくりを目指す。</p> <p>舞台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間口、奥行きとも十分に確保し、プロセニウム形式の舞台(今の市民会館と同じく、舞台が額縁のようになっているもの)とする。</li> <li>・走行式音響反射板の設置を検討。</li> </ul> <p>客席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートは、前後左右とも適度の間隔を確保し、くつろぎ感のある、長時間の鑑賞にも疲れのないものとする。</li> <li>・前席に座る人が視界の妨げにならないものとする。</li> <li>・バルコニー席の設置を目指す。</li> <li>・2階席構造とし、後方からも鑑賞しやすい配置とする。</li> </ul> |

|                           |   |
|---------------------------|---|
| <p>小ホール</p>               | <p>350人前後収容を検討する。</p> <p>地域の文化芸術活動団体や各種教室等の表現・発表の場など、中規模なイベントや研修会、講演会に適した多目的ホールとする。</p> <p>音響に考慮した、客席と舞台が一体感のあるホールとする。</p> <p>構造</p> <p>舞台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間口、奥行きとも十分に確保する。</li> </ul> <p>客席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートは、前後左右とも適度の間隔を確保し、くつろぎ感のある、長時間の鑑賞にも疲れのないものとする。</li> <li>・前席に座る人が視界の妨げにならないものとする。</li> </ul> |
| <p>&lt;各ホール共通&gt;</p>     | <p>親子ルーム(固定椅子は要検討)などにより、小さな子どもを連れた来場者にも対応できるよう検討する。</p> <p>舞台搬入口の大きさや、雨天時の搬入など、利用者の利便性に配慮する。</p> <p>来場者や出演者はもとより、楽器や機材にもやさしい環境(温・湿度等)の整備に努める。</p>   |
| <p>多目的ホール<br/>(ギャラリー)</p> | <p>レイアウトや展示が柔軟・容易にできるギャラリー仕様にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓のない壁面のみで構成された空間とする。</li> <li>・市展、県展にも対応できる広さと、大きな展示物にも対応できる高さ、また、照明、空調にも十分考慮。</li> <li>・保管庫や搬入口の適切な配置を検討。</li> </ul> <p>交流会や小規模なイベント等に対応する、音響設備も整ったものとして検討する。</p>   |
| <p>控え室(楽屋)</p>            | <p>出演者がリラックスできる部屋づくりを進める。また舞台への動線も考慮した配置とする。</p> <p>十分な部屋数を検討する。</p>  |

|                          |   |
|--------------------------|---|
| <p>スタジオ<br/>(リハーサル室)</p> | <p>文化芸術活動の練習やリハーサルなどを想定し、太鼓や電気音響を使った大音量に対応できる防音機能、録音機材を備えたものを検討する。</p> <p>ダンススタジオ的機能を検討する。</p>  |
| <p>研修室・会議室</p>           | <p>各種団体の自己研鑽の場や小規模なセミナー、会議、市民の日常的な活動の場として利用できるものとする。</p> <p>広さや部屋数は使用形態を考慮しながら、音響設備や映像設備のある部屋の配置を検討する。</p>  |
| <p>カフェ・<br/>レストラン</p>    | <p>施設を訪れた人はもとより、日常的な憩いの場として利用されていくもので、施設への誘引となるものとして設置を検討する。</p>  |
| <p>その他</p>               | <p>利用者に優しい、ユニバーサルデザインを基本とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トイレは、想定する来場者数に適した数と配置を検討。</li> <li>・ 子ども連れの来場者に対応するため、プレイルーム(託児室、授乳室)の設置を検討。</li> </ul> <p>太陽光発電や雨水利用など、環境にも十分配慮する。</p> <p>ロビーなど来場者が行き交う場所は、オープンスペースとし、ゆとりある空間づくりを目指す。</p> <p>現在の市民会館ロビーにある村井正誠の壁画は、新しいホールの適切な場所に移設展示する。</p> <p>建設予定地周辺の私有地の公有化を将来的に検討する。</p> |



(イメージ)

## 7. 管理運営

---

一体的に整備される熊野学センター、図書館と密接に連携し、効率的な一元管理運営をするとともに、ボランティア・利用者との協働による事業展開を含め、長期的展望に立ち、以下の指針に基づいた運営をするものとします。

1. 理念の実現(文化活動支援)と経営効率のバランスを保つために、運営形態(直営・指定管理等)について検討する。
2. 地域の文化芸術活動団体等との協働により、施設がより身近なものとして意識される事業の展開に努める(「市民とともに」利用・運営が出来る状態を作れるかがポイント)。
3. 文化芸術振興に携わる専門家の意見・助言による計画的な施設運営を進める。
4. 専門的知識を持つスタッフ(音響、舞台照明、舞台機構等)の充実に努める。
5. 優れた文化芸術を鑑賞できる機会を提供する自主事業の展開や興行の誘致に努める。
6. 地域の文化芸術の発掘や振興のための事業を展開する。
7. 近隣施設との連携による事業の展開を図る。
8. 友の会(仮称)の立ち上げを検討し、ホールのファンを広げるとともに、ホールの情報発信やニーズの把握に努める。

## 8. 取り組み経過

---

|                     |   |
|---------------------|---|
| 平成21年4月30日          | 文化ホール基本構想策定委員 委嘱<br>第1回文化ホール基本構想策定委員会   |
| 平成21年5月26日<br>27日   | 視察兼第2回文化ホール基本構想策定委員会<br>大阪府 八尾市民文化会館<br>大阪府 藤井寺市立市民総合会館<br>奈良県 田原本青垣生涯学習センター<br>奈良県 やまと郡山城ホール |
| 平成21年6月18日          | 第3回文化ホール基本構想策定委員会   |
| 平成21年7月 1日          | 第4回文化ホール基本構想策定委員会   |
| 平成21年7月 6日          | 視察 岐阜県 可児市文化創造センター  |
| 平成21年7月15日<br>~ 28日 | パブリックコメント募集   |
| 平成21年7月29日          | 第5回文化ホール基本構想策定委員会   |
| 平成21年8月10日          | 文化ホール基本構想 答申  |

---

新宮・東牟婁圏域の市町村で構成する「文化ホール並びに文化複合施設整備に係る新宮市周辺広域協議会」を計3回開催(平成21年5月~8月)

市役所内部の関係所管課職員で構成する「文化ホール基本構想検討庁内ワーキング」を計8回開催(平成21年2月~7月)

# 9. 文化ホール基本構想策定委員名簿

五十音順、敬称略

| 氏 名                | 所 属              |
|--------------------|------------------|
| えのもと よしきよ<br>榎本 義清 | 新宮市町内会長連絡協議会副会長  |
| おくむら けんじ<br>奥村 建二  | 新宮商工会議所事務局長      |
| おの しゅんじ<br>小野 俊二   | 新宮市文化協会会長        |
| たか ゆか<br>高 由香      | おやこ劇場事務局         |
| たにくち ゆきお<br>谷口 幸生  | 新宮市民音楽祭実行委員      |
| つつい みきお<br>筒井 三輝朗  | 新宮はまゆう合唱団団長      |
| はしもと みちこ<br>橋本 美智子 | 元子育てグループリーダー     |
| はまくち たいし<br>濱口 太史  | 新宮商工会議所青年部副会長    |
| ひらた かつお<br>平田 勝男   | 熊野美術協会会長         |
| ふくだ いちろう<br>福田 一郎  | 新宮市商店街振興組合連合会理事長 |
| もりやす みこ<br>守安 美湖   | ピアノ講師            |

委員長、副委員長

(平成21年4月30日委嘱)

助 言 : 文化ホール並びに文化複合施設整備に係る  
新宮市周辺広域協議会  
那智勝浦町教育委員会  
太地町教育委員会  
古座川町教育委員会  
北山村教育委員会  
串本町教育委員会  
新宮市教育委員会

協 力 : 文化ホール基本構想検討庁内ワーキング

事務局 : 新宮市教育委員会教育部文化振興課